



6

後援会だより

June 2014 Vol. 24

学友会の意気込み

「琢磨」の1年に！ 学友会会長 井之上奈々美

私の今年の抱負は、自分の役割を果たすだけでなく、常に目標に向かって全体を見て、積極的に行動できるようにすることです。二年生になり、学友会会長として全学生を引っ張っていく立場になりました。今まで先輩方の後に付いて行くことに精一杯でしたが、学友会の活動をする中で、言われたことをするだけでなく、先を見て行動することが行事の成功につながることを学びました。このような経験をさせていただくことで、人と協力することの大切さや人をまとめることの難しさ、自分の行動に必ず責任を持つことの厳しさ等、自分の為になることばかりです。今年度は、学友会会長、就職活動と忙しいですが、日々支えてくださる先生方や学友、家族に感謝しながら、大きく成長できる一年にしていきたいです。そして、今年度の学友会テーマである「琢磨」をモットーに役員・学友と力を合わせ、学生生活を充実していきたいと思っています。



「春忍を終えて」 学友会春の忍ヶ丘祭実行委員長 下園 裕己

春の忍ヶ丘祭を終えて私は達成感と感謝の気持ちでいっぱいです。私は、入学して1年生の時に全学学生の前に出ている学友会執行部の先輩達にあこがれをもち学友会執行部に入りました。昨年は、自分も1年生でただ先輩の指示通りに動いているだけでした。今年度は、春の忍ヶ丘祭実行委員長になり、学校の中心になってやらないといけないという責任感を持って、学生や先生達が楽しめる春忍にしようと臨みました。自分一人ではできないことも多く、お手伝いをしてくださった先生方や学生達には感謝の気持ちでいっぱいです。ふり返ると、正直大変な部分もありましたが、皆様の協力を得て大成功で幕を閉じることができました。閉会式で前に出て話をした時、皆が楽しかったと言ってくれただけで、本当にやってよかったと心の底から思うことができました。皆様の協力がなければこんなに満足できた春忍にはならなかったと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。

2年生保護者会のご報告と1年生保護者会のご案内

5月31日(土)、100名の保護者の皆様に参加いただき、2年生保護者会を行いました。

学長が「お礼と願い」と題し「学生たちには、全力で勉強する生き方をさせたい、定めた目標に必ず行きつく覚悟した生き方をさせたい(抜粋)」と強く願う心情を込めて、あいさつしました。就職指導課から本年度の求人時期、求める人材像、求人状況、昨年度の主な就職先等について説明を行いました。また、学生指導課から、めざす学生の姿、服装・容儀、喫煙、携帯電話の賢い使い方、学生の主体的な学びの必要性等について説明をしました。

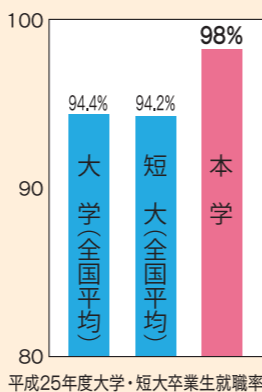
その後、各学科で学生の現状等の説明を行った後、参加された保護者の皆様と学級主任、コース主任との進路相談等についての個別面談を行いました。来春、2年生全員の希望が叶い、新たな一歩を踏み出すことができるよう心から願っています。

尚、10月18日(土)に1年生の保護者会を予定しています。たくさんの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

就職活動に向けて

文部科学省発表の大学等就職率は、平成25年3月31日時点で大学94.4%、短期大学94.2%と、全国的には昨年度とあまり変化していない状況ですが、宮崎学園短期大学は就職率98.0%を達成することができました。この高い就職率を支える要因は、資格職の強み、伝統的な信頼による求人、個別の細やかな就職指導にあります。求人状況が良くなってきているとはいえ、依然として厳選志向が続いているため、厳しい就職戦線を打破するには各自の積極的な就職活動が必要です。就職活動の第一歩は情報の収集で、企業の場合はネットによる登録エントリー、企業説明会への参加、短大への求人情報を見逃さないことです。保育園等の場合は、実習園等での自主実習や行事参加、自宅近くの保育園等に履歴書を持参しての就職のお願いなどが重要な就職活動です。

受験活動は、今までにない経験をして精神的に辛い事もありますので、保護者の方々からも声かけなどの支援をお願い致します。



春の忍ヶ丘祭

後援会会長より



感謝の気持ちを忘れずに

宮崎学園短期大学後援会
会長 川東 邦光

地球と同じである可能性がある惑星の発見は、500万光年かかる遙か遠い宇宙の話ですが、ロマンがあつて興味をそそるものがありました。

地球では、争いごとが多く民族闘争や爆弾テロ事件などが様々な国で発生し、隣国では200名を超す尊い命が犠牲となる海難事故が発生し、命の大切さといかに自分を守り判断するべきかを考えさせられました。

日本では家庭の困窮を原因としたネットカフェで暮らす14歳と19歳の姉妹の報道があり、中学生になってほとんど学校へも通っていない現実に驚かされました。

学生の皆さんはこの恵まれた環境と熱気あふれる先生方に見守られながら、日々努力して2年後には社会の即戦力となる人材となることを期待しております。

私たち後援会も皆さんの教育環境をより良きものとするよう大学と協力して支援していきますので、勉強研究に励んでください。

学長所感



日野原先生のこと

宮崎学園短期大学
学長 山下 忍

私は週1回、新聞紙面を通して、日野原重明先生の「102歳私の証、あるがまま行く」に出会うのが、大きな楽しみの一つです。

5月17日の土曜日は、低出生体重児として誕生し、小学時代には、命を失いかねないほどのいじめにも遭った中学1年生の俳人、小林源君との対話を記しておいででしたが、その文章の何とみずみずしいことか。

文化勲章をも早くに受章し、今や世界的にもよく知られた方、それも百歳を二つも越した方が、中学の1年生と、「死の先に人間はどこに行くのか」と、本気で真剣に考え、対話しておいでになる。「みずみずしさ」は、こうして生まれるのかと、ここ数日、しきりに考えています。

どうもがこうと、誰もが日野原先生の生きるのは無理であろうと思います。

ただ、「納得のいく生き方をするには、日々どうあればよいか」、それを真剣に考えながら生きて、いくらかなりと、みずみずしさに近づくことが可能なのではないのかと、思ったりもしています。

平成26年度 オープンキャンパスのご案内

第1回 7月6日(日)・第2回 8月3日(日)

受付 9:00～ 開催 9:30～13:00

内容 ウェルカムコンサート、ミニ講座、展示、入試相談コーナー、学食体験の他、保護者のための説明会も開催。無料送迎バスあり。

平成27年3月春のオープンキャンパス 3月8日(日)

本学への理解を深め、大学を身近に感じていただくために、本年度もオープンキャンパスを上記の日程で開催いたします。多くの高校生や保護者のかた、先生方の参加をお待ちしています。各学科よりバラエティー豊かな企画が準備されていますので、お知り合いの方にご案内いただくと有り難く思います。詳しくはホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.mwjc.ac.jp>

入試広報部



学科・専攻科 のめざすもの

保育科・専攻科(福祉専攻)

学科長 野坂 敬

「人の輝きを、その人らしくより美しく」長い職業としての福祉生活の中で求めてきた私の願いである。しかしながら、この言葉は私のこれまでの福祉人生における贖罪の思いも大いに含まれている。人が人にかかわるといふ一番重要な仕事にかかわる中で、本当にその人らしい「生」を見つめ、対象となる人の力を高めて「輝く」ことを支援してきたのか？自分の価値観や、思い込みだけで「多くの人」と触れて、思い通りの「形」を求め、強制し、そして、そのことに満足してこなかったか？ 私たちが育てている「保育者」や「介護福祉士」は、まさに、「人」にかかわる仕事の最前線に立つ「専門家」の卵たちである。昭和40年に本県で「保育士」を育て始めて49年目を迎えることとなり、平成10年からは介護福祉専攻を立ち上げ16年目を迎えている。そのなかから、「人として」の重要性を幼児段階から高齢者までの広いスパンで学び得る専門的職業人を育てる伝統が形作られている。これ

が、本学が誇る「保育科」の姿であると自信を持って話すことが、私たちの「強み」でもある。しかし、時代の流れは「子ども」が好き、「子どもに関わる仕事をしたい」、「高齢の方々の支えに」と夢を持って入学した学生たちを取り巻く「現代の社会環境」のなかで、「人として」、「人が輝くとは」をどのように学び得ることができるのか、まさに、「人の発達」、「人としての輝き」そのことが理解できる「専門家」の卵たちを世に送り出していくことが今後ともに求められる本学の使命である。



音楽科・専攻科(音楽療法専攻)

学科長 末平 浩康

いよいよ音楽科最後の年度となりました。音楽科がなくなろうとも、この短大で培われた音楽は消え去ることはありません。私たち音楽科が目指すものは、いい音を作ること、すなわち、生きた音を創り出すこと、そして、それを伝えることだと思っています。

私たちは、合唱や器楽のアンサンブルをしますが、その音の共有は、決して音楽をやっている本人たちだけの自己満足の共有ではいけません。パート同士、隣同士でしっかり音を確かめ合い、心をつにし、そして何より大切なことは、その共有を、遠くで感じる。その遠くは、ひょっとすると、はるか彼方…おおげさにいえば、地球の果て位のところで共有するものだと思います。そんな感じを抱いた時こそ、感動ある演奏になるのではないかとと思うのです。

この音楽科の魂となって創られた音楽は、遠き未来や、はるか彼方でいつまでも鳴り響いているはずで

宮崎学園短期大学音楽科の“音”は、永遠に不滅です。



初等教育科

学科長 黒木 國泰

初等教育科にとって最後の春の忍ヶ丘祭(ハルシノ)体育祭を、4月27日(日)音楽科との連合軍によって優勝することができました。この26年度をもって、ともに約半世紀の歴史を閉じることになった音楽科とともに、体育祭終了後の運動場で記念撮影をし、恒例の焼き肉パーティを学生教員一体となって楽しみました。

5月27日から6月にかけての3週間にわたる小学校教育実習のために、宮崎県教育研修センターの先生や宮崎県校長会の幹部の先生がたのご協力を得ての教育実習前指導を土曜日終日を含め連続して行いました。更には清武小学校における丸2日間の研修も無事終了しました。小学校での教育実習を終えると、いよいよ8月に教員採用試験を受験することになります。今春26年度には、過年度卒のかたが宮崎県に6名、熊本市に1名、横浜市に1名が採用され、それぞれの赴任地で活躍しています。

この半世紀の歴史の中で、多くの卒業生が小学校・幼稚園教諭など、それぞれに地域社会で貢献している姿に接し、頼もしく誇らしくおもいます。初等教育科にかわって、今春から宮崎国際大学教育学部がスタートしました。いわば初等教育科の1年生は宮崎国際大学で育ちはじめたと言って良いでしょう。初等教育科の伝統が宮崎国際大学教育学部に継承発展されることを願ってやみません。



人間文化学科・現代ビジネス科

学科長 久保 良一

本学科は、平成27年度の改組により教育課程を大幅に変更致します。それは、従来の資格・検定の級についてもより上級を目指すことを意味しています。例えば、簿記であれば日商3,2級取得を目指します。情報系の資格・検定もしかりです。また、医療事務・医療秘書コースの学生は、日本医師会認定試験等(3つ)の全員100%合格を目指しチャレンジしています。

一方、情報社会化をにらんで本学科1,2年生には「タブレット端末」を一人1台貸与して授業や日常生活の中で活用してもらっています。現在、2年生は就職試験に向けて全力投球していますが、この就職試験で聞かれる質問の中に、「パソコンが出来ますか」というものがあります。その対応として、「タブレット端末をいつも持って」という返事ほど有効かつ明確なものはありません。

本学科では、質の高い教育を目指す一環として「高次の資格・検定取得」をキーワードに指導を行っています。ご家庭でもぜひ、「頑張れ」の一言をかけていただきたいと思います。



2014春の忍ヶ丘祭より